

気候情報

2007年3月の日本の天候

気温高い（全国）、
降水量少ない（北・東日本太平洋側、西日本）、
日照時間少ない（北日本）

3月の天気概況

上旬前半は移動性高気圧に覆われ晴れて、気温は東・西日本を中心にかなり高かった。上旬後半から中旬にかけては、冬型の気圧配置となりやすく全国的に気温が低くなり、日本海側では雪や雨の日が多く、大雪となった所もあった。冬型の気圧配置が強まった18日には、北海道積丹岳で雪崩により人的被害が発生した。太平洋側では晴れの日が多かったが、中旬中頃には本州の南海上を低気圧が通過し、太平洋側でも降雪を観測した。下旬は、数日の周期で低気圧と高気圧が通過した。移動性高気圧に覆われ晴れたり、日本海の低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだことから、全国的に気温がかなり高く経過した。

上旬：初めは移動性高気圧に覆われて、晴れて気温が高く、東・西日本を中心にかなり高くなった。5日に低気圧が日本海を通過した後は冬型の気圧配置が続く、日本海側で雪や雨となり、全国的に気温が低くなった。

旬平均気温は、北・東・西日本は高く、東日本はかなり高かった。南西諸島は平年並だった。**旬降水量**は、東日本太平洋側で少なく、南西諸島で多かった。東日本日本海側と北・西日本で平年並だった。**旬間日照時間**は、北日本太平洋側と南西諸島で少なく、西日本太平洋側と東日本で多く、北・西日本の日本海側で平年並だった。

中旬：冬型の気圧配置が続いたため、全国的に気温が低く、日本海側では大雪となった所もあった。冬型の気圧配置が強まった18日には、北海道積丹岳で雪崩により人的被害が発生した。また、旬の中頃に本州の南海上を低気圧が通過し、太平洋側でも降雪を観測した。**旬平均気温**は、北・東・西日本は低く、南西諸島は平年並だった。**旬降水量**は、北日本日本海側でかなり多く、北・東日本の太平洋側と西日本、南西諸島で少なく、東日本日本海側で平年並だった。**旬間日照時間**は、北日本日本海側と南西諸島でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。東・西日本の太平洋側で多く、北日本太平洋側と西日本日本海側で平年並だった。

下旬：低気圧と高気圧が短い周期で日本付近を通過した。24～25日は日本海を通過した低気圧の影響で東日本太平洋側と西日本でもまとまった雨となった。移動性高気圧に覆われたり、日本海を進む低気圧に暖かい空気が流れ込んだことから、全国で気温が高かった。**旬平均気温**は、全国で高く、東・西日本、南西諸島ではかなり高かった。**旬降水量**は、東・西日本の日

本海側で多く、東・西日本の太平洋側で少なく、北日本と南西諸島で平年並だった。**旬間日照時間**は、東日本日本海側でかなり少なく、北日本で少なく、西日本と南西諸島で多く、東日本太平洋側で平年並だった。**3月の気候統計**

月平均気温：全国的に高く、東日本と西日本を中心に平年を1℃前後上回ったところが多かった。なお、気温の変動が大きかった。

月降水量：北日本から東日本にかけての日本海側では多かった。一方、北日本から東日本にかけての太平洋側と西日本で少なく、南西諸島では平年並だった。

月間日照時間：北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と東日本日本海側、および南西諸島では少なかった。一方、東日本太平洋側ではかなり多く、西日本では多かった。

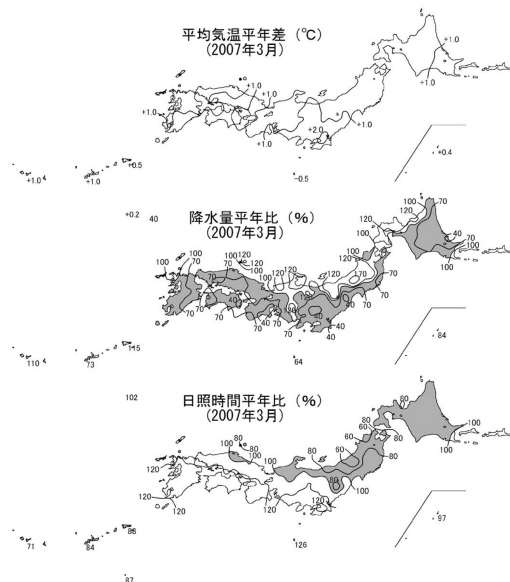
降雪・積雪：降雪の深さ（月合計）は、東北地方から近畿地方にかけての日本海側、および東海地方で平年並だったほかは少なかった。北日本一部の地点では平年を上回った。月最深積雪は、北海道のオホーツク海側や北陸地方、および近畿地方北部で平年並のところが多かったが、そのほかの地点では少なかった。

（気象庁観測部統計室）

3月の記録（1位更新のみ）

- ・日照時間少ない方から（時間）
新庄 64.7 酒田 74.1
- ・降雪の深さ月合計多い方から（cm）
酒田 65

2007年3月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。